

2015 年度委員会抱負並びに事業活動計画(案)

委員会	会員拡大特別委員会
担当副理事長	清原 大晶
委員長	清原 大晶
副委員長	尾瀬 正行
委員会開催日	12日
L O Mスローガン	
委員会スローガン	「新たな仲間」とともに、前へ。
委員会抱負	
<p>我々公益社団法人守山青年会議所は、常に「新たな力」の循環によって組織が活性化し発展を続けてきました。そして、このまちに大きなインパクトを与える団体へと更に飛躍し続けるためにも、メンバーと「新たな力」との融合が必要不可欠であると考えます。しかし近年、「会員数の減少」が大きな問題であり、今後の組織の存続の危機にまで影響を及ぼしかねない状況です。地域を取り巻く状況など、外部環境の変化もその要因の一部として挙げられますが、我々がこの問題に対してまだまだ「当事者意識」を抱いておらず、「会員拡大」に関しての動きが不十分であるという点、さらに我々の活動や特徴をまだまだ入会対象者に理解していただけていないという現状も考えられます。</p> <p>2015年度会員拡大特別委員会は、これらの課題に真剣に取り組むべく、委員会メンバーにはこれからの公益社団法人守山青年会議所を担うべく若き力を登用し経験豊富なメンバーにも協力いただき、まずは昨年から取り組んできたソーシャルネットワークや情報機器の進化を活用し、プライバシーやコンプライアンスへの配慮も行い、我々の自己研鑽とまちづくりに対する活動を積極的に発信し続けます。これに加え、定例会において各メンバーが有している有資格者に関する情報交換を密に行い、尚且つ諸先輩方にもご協力していただきながらメンバー間での情報の共有化を図ります。さらに、ただその情報を知るだけではなく、機動力とチームワークを活かし、実際に会って話をするなど具体的な行動である「会員拡大運動」に繋げます。また、こうした我々の動きが時代に即しているか客観的な視点を持つ意味でも、日本JCが推薦する会員拡大に関するプログラムも参考にし、それを取り入れることも視野に入れ活動します。</p> <p>まちづくりや諸団体が多数存在し、それぞれが個性を発揮している今。我々が各々の組織の特徴を知り、その上で守山JCの強みを理解し、全メンバーが誇りを抱きながら会員拡大活動に邁進するよう、当委員会がリーダーシップを発揮しオモイを共有できる「新たな仲間づくり」に努めます。</p>	
事業活動計画	
1. 会員拡大（通年） 2. 各種メディアを活用した情報の受発信 3. 有資格者情報の管理・共有	
意見	
執行部会での意見・対応	
(意見)1段落目「新たな力」とは新たな仲間を指すのか。	
(対応)1段落目全体を精査しました。	
(意見)1・2段落を分ける必要がないのではないか。	
(対応)1段落目として合わせました。	
(意見)「～ながら」という表現が多い。	
(対応)精査し簡潔にしました。	
(意見)45年という表現があるが44年ではないか。	
(対応)削除し、分かりやすい表現にしました。	
(意見)「外部環境」とあるが、会員数の減少をその所為にはしたくない。	
(対応)全てがその所為ではないが、一部要因として考えられ、過去とは何もかもが変化しており、昔どおりでいいという考えを現役だけではなくご協力いただくOBに伝わっていただくためにもこの表現は活かしたいと考えます。	
(意見)「日本JCが推薦するプログラム」とは何か。	

(対応)各種大会においてその内容に順ずるセミナーを受講し、当LOMIに持ち帰り導入するということです。
(意見)「担うべき若い力」とは。
(対応)年齢も若く、入会年数もそれほど経ってはいない為、卒業年まで十分に長く活動できるメンバーの事です。
(意見)最終段落の最初「まちづくり団体～」の一文が引っかかる。
(対応)まとめの段落として精査しました。
協議での意見・対応
どのような意見があったのか > 委員会での検討結果を簡潔に記載してください。
その他・対応